

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成30年3月29日(2018.3.29)

【公表番号】特表2017-507607(P2017-507607A)

【公表日】平成29年3月16日(2017.3.16)

【年通号数】公開・登録公報2017-011

【出願番号】特願2016-554736(P2016-554736)

【国際特許分類】

H 04 W 72/12 (2009.01)

H 04 W 24/10 (2009.01)

H 04 W 88/06 (2009.01)

【F I】

H 04 W 72/12

H 04 W 24/10

H 04 W 88/06

【手続補正書】

【提出日】平成30年2月15日(2018.2.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

第1の無線アクセス技術(RAT)と第2のRATとを利用する通信のために構成されたデバイスとのワイヤレス通信の方法であって、

前記第1のRATの時分割複信(TDD)構成に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のRATのためのダウンリンク(DL)タイムスロット内のDL送信および前記第2のRATのためのスケジューリングされた測定が、フレームの第1のサブフレームの間に少なくとも部分的に時間的に重複すると決定するステップと、

前記第1のRATのための前記DLタイムスロット内の前記DL送信との重複を避けるために、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を前記フレームの第2のサブフレームに再スケジューリングするステップと、

前記再スケジューリングするステップに基づいて、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を実行するステップとを備える、方法。

【請求項2】

前記第1のRATの前記TDD構成を識別するステップをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

再スケジューリングする前記ステップが、前記第1のRATのアップリンク(UL)タイムスロット中に、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を再スケジューリングするステップを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記デバイスが、複数のアンテナを備え、

前記DLタイムスロット内の前記DL送信が、前記複数のアンテナを利用するように構成され、

再スケジューリングする前記ステップが、前記複数のアンテナのうちの少なくとも1つ

が利用可能である場合、ある時間期間にわたって前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を再スケジューリングするステップを備える、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

前記第1のRATのための前記DLタイムスロット内の前記DL送信との重複を避けるために、前記第1のRATのための測定をスケジューリングするステップをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項6】

前記デバイスが複数のアンテナを備え、

前記DLタイムスロット内の前記DL送信が、前記複数のアンテナを利用するように構成され、

スケジューリングする前記ステップが、前記複数のアンテナのうちの少なくとも1つが利用可能である場合、ある時間期間にわたって前記第1のRATのための前記測定をスケジューリングするステップを備える、請求項5に記載の方法。

【請求項7】

前記スケジューリングされた測定がRAT間測定を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項8】

前記スケジューリングされた測定が、前記第2のRATのためのアウトオブサービス(OOS)検索を備える、請求項1に記載の方法。

【請求項9】

前記デバイスが、デュアルSIM、デュアルスタンバイ(DSDS)デバイスを備え、前記方法が、前記デバイスをDSDSモードで動作するステップをさらに備える、請求項1に記載の方法。

【請求項10】

第1の無線アクセス技術(RAT)と第2のRATとを利用するためのワイヤレス通信のための装置であって、

前記第1のRATの時分割複信(TDD)構成に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のRATのためのダウンリンク(DL)タイムスロット内のDL送信および前記第2のRATのためのスケジューリングされた測定が、フレームの第1のサブフレームの間に少なくとも部分的に時間的に重複すると決定するための手段と、

前記第1のRATのための前記DLタイムスロット内の前記DL送信との重複を避けるために、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を前記フレームの第2のサブフレームに再スケジューリングするための手段と、

前記再スケジューリングするステップに基づいて、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を実行するための手段とを備える、装置。

【請求項11】

命令を記憶したコンピュータ可読記憶媒体であって、前記命令が、

第1の無線アクセス技術(RAT)の時分割複信(TDD)構成に少なくとも部分的に基づいて、前記第1のRATのためのダウンリンク(DL)タイムスロット内のDL送信および第2のRATのためのスケジューリングされた測定が、フレームの第1のサブフレームの間に少なくとも部分的に時間的に重複すると決定して、

前記第1のRATのための前記DLタイムスロット内の前記DL送信との重複を避けるために、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を前記フレームの第2のサブフレームに再スケジューリングして、

前記再スケジューリングするステップに基づいて、前記第2のRATのための前記スケジューリングされた測定を実行するためプロセッサによって実行可能である、コンピュータ可読記憶媒体。